


記入例

余白に捺印を押してください

正

宅地造成に関する工事の許可申請書

宅地造成等規制法第8条第1項本文の規定による許可を申請します。		令和 年 月 日		* 手数料欄		
(あて先) 鹿沼市		申請者 氏名 鹿沼 市朗 		*手数料額は「6」のイ欄の面積に基づく		
申請者が法人の場合、法人名・代表者氏名を記入 (代表者印を押印)						
1 造成主住所氏名	※原則、申請者と同じ				(電)	
2 設計者住所氏名	※有資格者の設計によらなければならない工事を含む場合は○をつける(設計資格に関する証明書類添付)				(電)	
3 工事施工者住所氏名	※工事施工者未定の場合は、工事着手前に届出すること				(電)	
4 宅地の所在及び地番	鹿沼市 日吉町○○番○、□□番□の一部					
5 宅地の面積	※「4」欄の土地の総面積を記入 (小数点第3位四捨五入、小数点第2位まで)				685.42㎡	
6 工事の概要	イ 切土又は盛土をする土地の面積	※「5」欄の面積のうち、実際に切土または盛土をしようとする部分の面積を記入 (CAD求積可)			538.25㎡	
	ロ 切土又は盛土の土量	切土	※土量の計算根拠資料も添付すること		232.7㎡	
		盛土			185.2㎡	
	ハ 擁壁	番号	構造	高さ	延長	
			重力式擁壁	3.8~5.5m	15.8 m	
		L型擁壁	1.8、2.5m	20.5 m		
		擁壁の高さ＝地表からの高さ (高さ5mを超える場合は設計資格に関する証明書類添付)				
	ニ 排水施設	番号	構造	内法寸法	延長	
			U型側溝	300×300~300×600	12.3 m	
			集水柵	0.4×0.4 m	2か所	
		硬質塩化ビニール管	φ0.2 m	6.8 m		
		雨水浸透柵	φ0.3 m	4か所		
ホ 崖面の保護の方法	張芝、擁壁					
ヘ 工事中の危害防止のための措置	仮囲いにより、近隣への騒音・粉塵を防止する。 排水施設により、土砂の区域外への流出を防止する。					
ト その他の措置						
チ 工事着手予定年月日	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ※日付または「許可の日より▲日以内」					
リ 工事完了予定年月日	令和 × 年 × 月 × 日 ※日付または「許可の日より△ヶ月以内」					
ヌ 工程の概要	防災工→擁壁工→盛土→排水工→整地 ※別紙工程表添付でも可					
7 その他必要な事項	※他法令に基づく許認可が必要な場合、その手続き状況を記入					
*受付欄			*許可にあたって附した条件	*許可番号欄		
令和 年 月 日	*欄は記入しないでください			令和 年 月 日		
都第 号				第8 - - 号		
係員印				係員印		

記入例

余白に捺印を押してください

副

宅地造成に関する工事の許可通知書

*許可通知欄	この申請書及び添付図書に記載の宅地造成に関する工事については、下記の条件を付して許可しましたので通知します。				
	許可番号	第 8 - - 号	*欄は記入しないでください		
	令和 年 月 日	鹿沼市長	印		
	条件 別紙のとおり				
1	造成主住所氏名	1~7欄は、許可申請書と同じ内容を記入してください			
2	設計者住所氏名				
3	工事施工者住所氏名	(電)			
4	宅地の所在及び地番	鹿沼市			
5	宅地の面積	m ²			
6 工事の概要	イ 切土又は盛土をする土地の面積	m ²			
	ロ 切土又は盛土の土量	切土	m ³		
		盛土	m ³		
	ハ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
				m	m
	ニ 排水施設	番号	構造	内法寸法	延長
				m	m
	ホ	崖面の保護の方法			
ヘ	工事中の危害防止のための措置				
ト	その他の措置				
チ	工事着手予定年月日	令和 年 月 日			
リ	工事完了予定年月日	令和 年 月 日			
ヌ	工程の概要				
7	その他必要な事項				
<p>[注意] 1 *印のある欄は記入しないでください。</p> <p>2 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含む場合には、○印を附し、かつ、資格を有することを証明するに足りる資料を本申請書に添付してください。</p> <p>3 3欄は、未定のときは、後で定まってから、工事着手前に届け出てください。</p> <p>4 7欄は、宅地造成に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続きの状況を記入してください。</p>					